

第27回 全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会会長賞

石川県

都市計画道路温泉中央南線街路事業

都市名	石川県加賀市	事業主体	石川県
事業概要			
温泉中央南線（通称「ゆげ街道」）は、山中温泉のメインストリートであり、全延長約1.2kmの都市計画道路である。当該路線は、こおろぎ橋～鶴仙溪～あやとり橋～総湯を結ぶ観光回遊ルートとして重要な役割を担っているが、幅員が狭く、歩道も未整備であったことから、歩行者と車両が混在し、観光客や地域住民にとって安全性の確保が喫緊の課題であった。また、山中温泉の観光客数も年々減少していたことから、安全・安心なまちづくりと温泉街の賑わいの創出が求められていた。本事業では、湯の出町工区の155mの事業区間において、無電柱化及び民地のセットバックによる軒下の開放により、ゆとりある歩行空間を確保するとともに、温泉街がもっとも賑わった大正から昭和初期にかけての「土のみち」をイメージした茶系のアスファルト舗装や御影石の歩道舗装を整備するなど温泉街の活性化や賑わいの創出が図られた。			
○事業延長：155m		○幅員：13m	
○事業費：約12億円		○事業期間：平成16年度～平成25年度	
表彰理由			
本事業では、無電柱化やセットバックによる軒下の開放により、ゆとりある歩行空間を確保するとともに、温泉街にふさわしい修景整備が施されたことにより地域に賑わいが創出され、観光を資源とした地域振興が高まることが期待される。また、地元の湯の出町の住民が中心となって、独自の景観形成マニュアルを策定し、街路事業と一体となって沿道の街並みを整備することで、温泉街の活性化や賑わいの創出に寄与したことも高く評価された。			

